

# くどやま

# こんにちは！ 議会です

第103号

編集  
発行

☎648-0198 和歌山県伊都郡九度山町議会広報編集委員会 ☎0736-54-2019



## 町民を守る 九度山町消防団！ (団員募集中)

### 主な 内容

提案案件と審議の結果……P 2～4  
 決算審査特別委員会報告…P 5～6  
 採択された意見書………P10  
 町議会の活動日誌………P12

主な議案と主な質疑………P 4  
 一般質問と答弁………P 6～9  
 総務文教常任委員会研修報告…P11  
 編集後記………P12



# 平成30年第4回定例会(12月議会)

会 期：12月3日～12月21日(19日間)  
一般質問：4名(質問の要旨を6ページから掲載)

今回の議案は	・ 条例改正	3 件	・ 平成30年度補正予算	12 件
	・ 請願	1 件	・ 同意	1 件
	・ 発議	1 件		計 18 件

## 提案された案件と審議の結果

[議案]

番 号	件 名	付託委員会	議決結果																
			委員会	本会議															
				議員名	嶋田	玉置	前	西	井	西	藤	伊	松	森					
結果	結果	治	次	橋	隆	崇	津	正	俊	谷	一	司							
認定第1号	平成29年度九度山町一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	原案認定	原案認定	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成29年度九度山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	原案認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成29年度九度山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	原案認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成29年度九度山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	原案認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成29年度九度山町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	原案認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成29年度九度山町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	原案認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	九度山町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	総務文教常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	九度山町農村地域工業等導入地区における町税の特別措置に関する条例を廃止する条例について	総務文教常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	平成30年度九度山町一般会計補正予算(第4号)について	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会	原案可決 原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長は採決に参加しません。 ○は賛成 ●は反対

番 号	件 名	付託委員会	議決結果																	
			委員会	本会議																
				議員名	嶋田	玉置	前	西	井	西	藤	伊	松	森						
結果	結果	治	次	橋	隆	崇	津	正	俊	谷	一	司								
議案第44号	平成30年度九度山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	産業厚生常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	平成30年度九度山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	産業厚生常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	平成30年度九度山町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	産業厚生常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成30年度九度山町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	産業厚生常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	平成30年度九度山町下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	産業厚生常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	本会議即決	—	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	平成30年度九度山町一般会計補正予算(第5号)について	総務文教常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	平成30年度九度山町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	総務文教常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成30年度九度山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	総務文教常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成30年度九度山町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	総務文教常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成30年度九度山町簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)について	総務文教常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	平成30年度九度山町下水道事業特別会計補正予算(第5号)について	総務文教常任委員会	原案可決	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[請願]

請願第3号	後期高齢者の医療費窓口自己負担の原則1割負担の継続を求める請願	産業厚生常任委員会	採択	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------	---------------------------------	-----------	----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※ 議長は採決に参加しません。 ○は賛成 ●は反対

# 決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、10月18日、24日、29日、11月2日に委員を招集し、付託された案件を審査しました。

審査の結果は、平成29年度一般会計および同特別会計5会計（国保、後期高齢者医療、介護保険、簡易水道、下水道）の歳入歳出決算6件について全会一致で認定すべきと議決されました。

決算審査特別委員会の意見書は次のとおりです。

## 決算審査特別委員会の意見書（要旨）

### 1. 町政全般について

本町のまちづくりの最上位計画である「第4次九度山町長期総合計画」の目標年度の平成32(2020)年度で、4500人の人口規模を維持するために、現在行われている新築住宅購入費補助や若者世代支援の町営住宅建設などの若者・子ども子育て支援、少子化対策の継続と、若い世代の転入と定着、出生率向上に向けてのより一層の取り組みを求めます。

### 2. 防災対策について

防災マップ・ハザードマップ作成や自主防災組織作り支援、自主防災組織の立ち上げの支援、防災備品の計画的備蓄など成果をあげている防災対策を活かすために、全町的な防災訓練や災害時要援護者の支援訓練に取り組むことを要望します。

### 3. 税の徴収について

町税の徴収率は97.7%、国保税の徴収率は95.6%で、和歌山県で最高水準の高い徴収率となっています。この高い徴収率は、税務課を中心に各課が連携し滞納調査を行った上で滞納者の生活実態に応じた徴収方法によるもので、法的手段や和歌山県地方税回収機構などの外部機関による強制的な徴収方法を使ったものでないことを高く評価します。支払い能力があるにもかかわらず滞納する悪質な滞納者でない限り、法的手段や和歌山県地方税回収機構などの外部機関を使った強制的な徴収方法を使わないという従来の町民に寄り添った対応の継続を要望します。

### 4. 農業の振興について

「農業次世代人材投資事業」を活用して新規就農者が自立定着する成果が出ていることを評価します。国の支援制度の活用や「田園回帰」を支援する組織・団体との連携を図るなどして、今後も町内外からの農業後継者の育成に努めることを要望します。

次のページにつづく

## [同意]

番号	件名	結果
同意第2号	教育委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	九度山町大字笠木199番地 嶋田俊昭氏

## [発議]

番号	件名	付託委員会	議決結果
発議第4号	後期高齢者の医療費窓口自己負担の原則1割負担の継続を求める意見書提出について	本会議即決	原案可決

## 提案された 主な議案と質疑

### ○平成30年度九度山町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ3404万8千円が追加補正され、予算総額は35億6582万7千円となります。

### 計上された主な事業

#### 【農林業費】

被災農業者向け経営体育成支援事業補助金 800万円

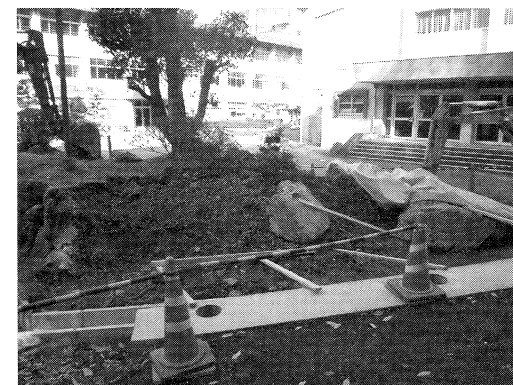
台風21号による甚大な農業被害により、農産物の生産・加工に必要な施設・機械が損壊し、農業経営に支障をきたす事態となっていることから、施設・機械の再建等への支援を緊急的に行う補助金。

総事業費1600万で、2分の1以内で国が支援。

#### 【教育費】

九度山小学校校庭整備工事 58万9千円

九度山小学校屋内運動場前の植栽部分を町道87号線改良工事に合わせて改修をおこない、駐車スペースを広げる工事。



○九度山町農村地域工業等導入地区における町税の特例措置に関する条例を廃止する条例について

農村地域工業等導入促進法の改正で同法第10条の規定が削除されたことにより、立地企業の固定資産税を優遇する町条例を廃止するための条例。

### 主な質疑

問 この条例の適用を受けて九度山に事業所を立地した企業はありませんか。

答 入郷地区に製造業1社立地の実績があります。

### ○平成30年度九度山町一般会計補正予算(第5号)

人事院勧告に伴う町職員の給与改定を行うための補正予算です。この補正による歳入歳出予算総額の増減はありません。

この改定で職員の給料月額は、平均で31万577円(626円、0.2%増)となります。

# 一般質問と答弁

12月13日に行われた一般質問と答弁（要旨）は次のとおりです。

伊丹 俊也 議員

## 問一 学童保育（放課後児童クラブ）について

**質問①** 学童保育について、国は「従うべき基準（★<sup>1</sup>）」の廃止または「参酌基準（★<sup>2</sup>）」化を検討しています。支援員1人のワンオペの学童保育では、子どもの安全性の確保など一定の質の担保を図ることができません。国が基準緩和を実施した場合、本町はどのように対応しますか。

**町長** 今のところ、来年（2019年）の通常国会に提出される児童福祉法および厚労省令の改正案に関する正式な通知等は届いていませんが、本町条例で定める放課後児童支援員の資格と配置基準については、子どもの安全性の確保等、一定の質の担保がはかれるよう、現行の水準を維持したいと考えています。

★<sup>1</sup>「従うべき基準」とは学童保育の指導員は1カ所に有資格者を含む2名以上の配置を厚労省令で「従うべき基準」として市町村に義務づけています。

**質問②**（支援員の資格・配置基準を定める）町条例を（基準緩和する）改定はしないのか。  
**町長** 基本変えるつもりはございません。今以上、改悪になることはないと思っております。結構です。

**質問③** 今後、町として支援員配置基準の上積み（増員）や、支援員の処遇改善の考えはありますか。

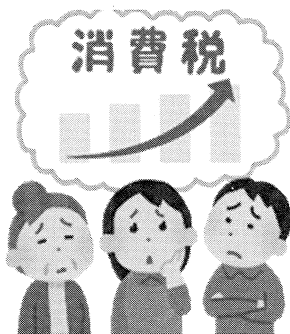
**福祉課長** 2018年度よりキャリアアップの処遇改善加算・支援員増に対応する旨、資格要件の緩和（★<sup>3</sup>）に伴う支援員の処遇を改善するための加算を始めており、これについて支援員の充実という方に委託料が出ております。



## 問二 消費税増税の本町への影響について

**質問①** 町民や地域経済に深刻な影響を及ぼしかねない消費税増税10%への増税中止を政府に申し入れるべきだと考えますが、町長の見解は。

★<sup>2</sup>「参酌基準」とは拘束力のない参考にするべき基準です。「参酌基準」に緩和されれば、無資格者が十分な研修も受けずに、1人で子どもを預かることも可能となります。  
★<sup>3</sup>支援員の条件を保育士や教員免許などを取得していることに加え、「5年以上、放課後児童健全育成事業に従事した者」で市町村長が認めたものであれば可能としたこと。



※その他、「本町の障害者雇用が不足していることについて」を質問しました。

**町長** 法律で2015年実施の税率引上げを延期してきたもので、使途や景気対策について慎重な議論の上、政府が決定したもので、町が要望等を行うことは考えていません。  
**質問②** 水道料金やゴミ袋代などの増税時の対応は。  
**上下水道課長** 上・下水道料金は今のところ改定する考えはありません。  
**住民課長** ゴミ袋については値上げを考えていません。

(つづき)

## 5. 国民健康保険について

国民健康保険は、保険加入者に高齢者や低所得者が多く、医療費が高いという構造的問題を抱えているため、病気、失業など「特別な事情」でやむなく滞納する加入者が出てきます。「特別な事情」があり悪質でない滞納者に（医療機関窓口でいったん医療費全額を払わなくてはならない）資格証明書を発行しない町の方針を高く評価し、今後もその方針を継続することを要望します。

がん検診について、保険給付費増加の抑制のため、町民の健康増進のため、受診率向上に努めることを要望します。

## 6. 簡易水道事業について

水道施設の利用状況や適正規模を判断する「施設利用率」は、平成25年度～平成27年度の40%台から平成29年度は62.4%へと大きく改善している。一方、施設の稼働が収益につながっているかを判断する「有収率」は、74.9%で前年度と比べ改善しているが、平成25年度と比べると9.5ポイント低下している。水道を安定して供給していくために、水道施設の稼働が収益につながっているかを判断する「有収率」の向上に努めることを要望します。

# 一般質問と答弁

12月13日に行われた一般質問と答弁（要旨）は次のとおりです。

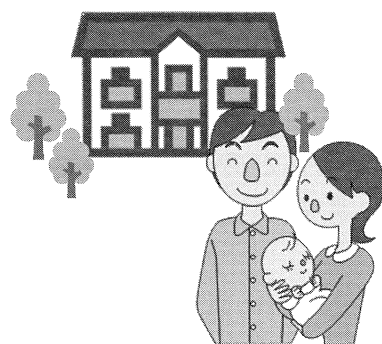
前 香 議員

## 問一 九度山町人口増対策について、どのような施策をお考えですか。

（参考事例）

- ① 成果を挙げている自治体
  - ・ 下條村（長野県）
  - ・ 上富田町（和歌山県）
- ② 成果を挙げつつある自治体
  - ・ 和歌山市
  - ・ 橋本市
- ③ 成果を挙げた地域
  - ・ 天野（かつらぎ町）

**町長** 現在、本町では、住宅新築補助金、新婚及び子育て世帯の支援として民間賃貸住宅アパートの補助制度やさくら団地の建設。そして宅地の少ない弱点を克服すべく町有地の売却等による宅地の提供など住居面での支援はもとより、空き家の斡旋、学童保育の実施、就学時医療費助成やクローバー給付金をはじめ、幼稚園の給食導入や受入年齢を下げるなど、ソフト面での



支援も行い、町自体の魅力を高めることで九度山町で定住していただく方の増加及び人口流出の食い止めを目指しております。  
しかしながら、日本全国はもとより和歌山県全体の人口減少に歯止めがかけられない中、本町の人口が増加に転じるのは現実難しいと考えております。  
町としましては、厳しい財政状況や地理的条件ではありますが、定住や人口減少といった課題について、出来る限りの政策を講じ、また予算を措置し、未来に九度山町を残していけるよう鋭意努力して参る所存であります。



# 一般質問と答弁

12月13日に行われた一般質問と答弁（要旨）は次のとおりです。

井上 崇 議員

**問一 NHK・大河ドラマ以降の「真田の遺産」を活用したまちづくりの取り組みについて**

**質問①** 真田幸村公の史跡を巡り、学ぶネットワークの構築について

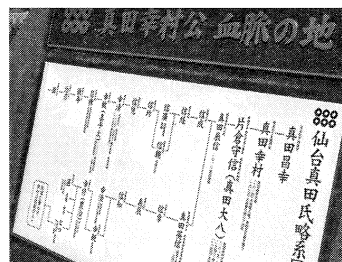
真田サミット参加市町村を巡り、連帯感を強めると共に、参詣者に特典を与えてはどうかと考えますか？

**町長** 真田ゆかりの市町村による広域的な取り組みとして、本町と上田市、他16市町村が連携し『真田街道スタンプラリー』を実施しています。真田ファンには好評で、一定の成果がある事業だと認識していますが、より「全国各地の真田スポットを巡りたい」と思っていただけのように、もっと付加価値のある特典が付くような事業をできればと考えています。

御朱印帳を活かした事業を実施したいと上田市・真田

神社から申し出があり、真田街道スタンプラリー参加自治体から調整しては、と提案し、本町においても取り扱い場所はもちろんのこと、ネットワーク構築、広報周知など最大限の協力をお約束しました。

現時点では、真田昌幸・幸村・大助の真田三代を紹介する観光拠点の「九度山・真田ミュージアム」を中心に、御朱印帳の販売を含めて、前向きに検討していきたい。また、関係市町村が今以上に連携を深めつつ、真田幸村のストーリーを設定し、その地域の文化・伝統を後世に引き継いでいくとともに、地域住民のアイデンティティの再確認や地域のブランド化に努めるためにも『日本遺産』認定へ向け、検討していきたい。



蔵王町矢附地区

**質問②** 真田塾の開設について

講演会を通じて戦国時代の英雄たちの知恵・活動から学ぶ講座を開き、九度山発の情報発信を行ってはどうか。

**町長** 「真田丸」放送を機に、様々な角度から真田三代の歴史・生活を知っていただく場として真田三代の軌跡と14年間という幸村の生涯で最も長い時間を過ごした九度山での生活などをパネル展示やドラマ仕立ての映像により紹介する施設「九度山・真田ミュージアム」を平成28年3月13日にオープンしました。

また、真田関係の講演会として、平成28年9月17日に、奈良大学学長で城郭考古学者の千田嘉博氏をお招きし、大河ドラマ「真田丸」の時代背景や真田幸村が築いた真田丸の実像などについてお話しをいただきました。同年10月23日には、大阪城天守閣館長の北川央氏と講師旭堂南陵師匠をお招きし、「九度山真田フォーラム2016」を開催

いたしました。

平成29年10月29日には、講師に元NHKアナウンサーの松平定知氏をお招きし、「真田信繁と徳川家康」と題してご講演をいただきました。さらに九度山町商工会主催事業ではありますが、平成26年から平成29年にかけて、真田関係セミナーが開催されました。また、本町の魅力は真田だけでなく、自分たちの地域にある、魅力を再確認し、自分たちでその情報を編集・発信する人材を育成するため、平成29年から『九度山町ローカルウィキ研修会』を開催しています。

地域の魅力を再確認するだけでなく、今ある地域課題を自ら考え、解決していこうという動きも始めています。今後も引き続き、真田ゆかりの町、九度山を全国に発信するとともに、地域住民が一緒になって学べる講演会・研修会を実施できるよう、検討していきたいと考えています。

# 一般質問と答弁

12月13日に行われた一般質問と答弁（要旨）は次のとおりです。

西山 隆 議員

**問一 森の童話館について**

**質問①** 本年度の来場者数について伺います。

**教育長** 8か月間で89日開館、この期間で897名来場していただいております。

**質問②** 音楽を聴きにいられた人数を伺います。

**教育長** 57名が来場していただいております。

**質問③** 本年度の支出はどれくらいでしょうか。

**教育長** 315万6千円の予算がついていますので、予算内で適正な執行ができるように努めたいと考えております。



**問二 将星真田幸村花火大会について**

**質問①** 3回、4回と繋げてきているこの花火大会、10年先までできるかと考えた場合、今のままでは難しいと考えます。このまま町のお金を使い続けていくことは非常に難しいことで、他にお金を使わなくてはならない事柄は多くあると考えますので、少しでも支出を抑えるために5月の真田まつりに花火大会を移行してはどうでしょうか。

**教育長** ご提案のとおり、真田まつりの開催と花火大会を合わせることにし、真田幸村を偲ぶ鎮魂の花火というストーリー性を持たすことができ、また、舞台やテントブースを共用できる面もありますので、経費縮減につながると

一方、花火には地域の活性化を図るといふ要素があり、

誘客数の点で課題が生じるのかなと考えます。

しかしながら、大切な提案なので今後、検討していく必要があると認識を持っています。

**質問②** 昨年のクラウドファンディングについて、反省点と来年度に向けてどう考えているのかを伺います。

御坊市の花火大会の例を調べてみますと1300万円の予定で花火大会をされています。寄付金が1080万6540円集まっています。その内訳は、329団体からの寄付、77町内会の寄付、個人からの寄付が553名、御坊市は全体の92%を寄付でまかなう花火大会をしております。御坊市は、花火の補助金として90万円しか出していません。

前回、九度山町がしたクラウドファンディングは成功だとは言えないと考えますので、来年花火大会をする予定であれば、どういう風な形を考えているのかお聞きします。



**教育長** 今年度実施いたしましたガバメントクラウドファンディングでは、58日間で18万7千円のご寄付、ふるさと納税は、返礼品にプラスして花火特別観覧席の特典を付けたことにより165万3千円のご寄付をいただきました。反省点としては、クラウドファンディングの募集期間に制約がありましたので、アピル度の弱さがあったと思います。

今後は、将星真田幸村花火大会のもつストーリー性をより明確にし、報道機関へのきめ細かな周知や各種情報誌への宣伝広告、大きな推進力をもつインターネットやSNSを活用した新しいメディアの活用を努力することが大切だと考えています。

「後期高齢者の医療費窓口自己負担の原則1割負担の継続を求める請願」を採択し、意見書を提出

12月21日の本会議で、「後期高齢者の医療費窓口自己負担の原則1割負担の継続を求める請願」が全会一致で採択され、政府に意見書を提出しました。

この請願は橋本・伊都地方の住民と団体で作る「橋本・伊都社会保障推進協議会」から提出されたものです。政府に提出した意見書は次のとおりです。



### 後期高齢者の医療費窓口自己負担の原則1割負担の継続を求める意見書

2019年から、後期高齢者医療（75歳以上）の医療費窓口負担を現行1割から2割にする論議が、経済財政諮問会議（内閣府）や財政制度審議会（財務省）ですすめられ、社会保障制度審議会（厚労省）でも議論が開始されました。2割化となる負担増の計画に対して、老人クラブや医療関係団体から慎重な意見が相次いでいます。

戦前、戦後を体験してきた高齢者は日本経済の発展に寄与し、医療に安心してかかれる制度に支えられ世界の長寿国をつくりあげてきました。しかし、この間、公的年金の受給額が毎年減少するなどの影響もあり、一人暮らしの高齢者の約半数は生活保護基準を下回り高齢世帯の27%が貧困状態に陥っています。

高齢者の多くは、わずかな貯蓄を取り崩し日々の生活を送っています。このような厳しい実態に追い打ちをかける75歳以上の医療費自己負担の2割化は、高齢者の生活と健康に大きな影響を及ぼし大変困ります。高齢夫婦無職世帯では、生活費などが毎月約5.5万円不足し（総務省「平成29年家計調査報告」）、貯金を取り崩して生活せざるを得ず、また「貯金なし」の高齢者世帯は15.1%（「平成28年国民生活基礎調査」）にのぼるといのが、高齢者の実情です。また、高齢者の負担増は、介護に携わる現役世代の生活をも圧迫することになり、全世代に多大な影響を与えます。

上記のような実情に配慮し、後期高齢者の医療費窓口負担について、原則1割負担の継続を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成30年12月21日

九度山町議会

## 総務文教 常任委員会研修

平成30年10月3日～4日まで那智勝浦町、色川地区を視察研修のため訪問しました。

那智勝浦町は和歌山県の南東部に位置し、黒潮の影響を受け温暖で、冬でも雪を見ることはまれで面積183.31平方km、約90%を山地と丘陵地が占めています。

平成23年の紀伊半島大水害のあと何か所も砂防ダムができており、今もなお工事が継続中でした。

今回の研修の目的は主に「移住・定住対策」についての研修です。

那智勝浦町役場で町議会議長、議会事務局長の対応で

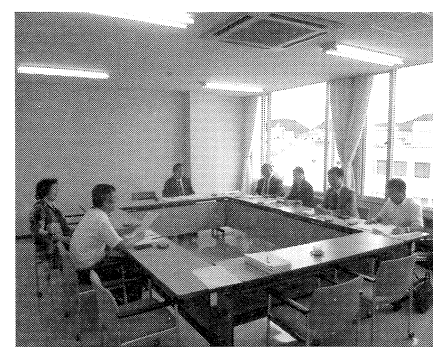
子育て支援、移住者支援、また、保育所や学童保育運営についての課題など町の抱える問題点について意見交換をし、那智勝浦町は保育所については保育士不足、学童保育については運営場所の確保が困難であるとのことでした。



## 2 目

本来の目的である色川地区です。

町の中心部から車で約1時間かかるこの地区は、40年前にも前に最初の移住者を受け入れ、今もなお「ターナー」による移住者が増え続けており、今では住民の50%が移住者で占められているそうです。



迎えてくれた場所は、元の籠小学校の校舎を改修した「町立籠ふるさと塾」という研修センターで、管理は町が運営は地元住民で行っています。台風直後の訪問だったため、当初対応してくださる予定の地元区長や、地区役員の方は災害対策のため不在となり、移住者の代表の方お一人だけの説明となりました。地元の方のお話が聞けなかったのが残念でしたが、**移住者が中心**となって地域振興推進委員会を発足し、色川地区の活性化と移住交流促進の取り組みについてのお話を聞かせてもらいました。

移住希望者に対しては住居や仕事をあらかじめ準備

斡旋するのではなく、短期滞在施設を活用（原則1年以内）してもらいながら地域の各家庭を順に訪問、**定住体験**の機会を提供し、その中で色川の生活や文化を理解してもらい住民とのコミュニケーションを図ります。農地や住宅を移住者自身が確保するため、移住するまでに相当の期間が必要で、人と人との繋がりが先となることと、仕事や住宅を事前に町が準備して移住者を募る方法とは違い、全く逆の発想での成功例を学ぶ機会となりました。





## 【 町 議 会 の 活 動 日 誌 】

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>11月</b> 1日 上田市議会親善訪問団懇談会<br/>2日 決算審査特別委員会<br/>3日 第55回文化祭（～4日）<br/>10日 第12回大収穫祭 IN 九度山（～11日）<br/>13日 和歌山県町村議会議長会委員長・副委員長研修会<br/>21日 第62回町村議会議長全国大会<br/>22日 和歌山県京奈和自動車道建設促進協議会総会<br/>29日 議会運営委員会</p> <p><b>12月</b> 3日 本会議<br/>9日 第65回伊都郡・橋本市公民館大会<br/>13日 議会運営委員会<br/>本会議<br/>14日 議会広報編集委員会<br/>総務文教常任委員会／産業厚生常任委員会</p> | <p>21日 議会運営委員会<br/>本会議<br/>議会広報編集委員会<br/>26日 年末特別警戒（夜警）激励</p> <p><b>1月</b> 6日 消防出初式<br/>7日 議会広報編集委員会<br/>和歌山県町村議会議長会来年度予算案協議<br/>和歌山県町村議会議長会新年のあいさつ<br/>11日 議会広報編集委員会<br/>13日 成人式<br/>16日 紀北ブロック町村議会議長会全議員研修会<br/>18日 和歌山県町村議会議長会理事会<br/>20日 第11回九度山世界遺産マラソン<br/>30日 和歌山県町村議会議長会臨時総会／意見交換会</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### \*ご意見・ご要望をお待ちしています\*

あて先 〒648-0198 九度山町大字九度山 1190 九度山町議会事務局「議会広報編集委員会係」  
電 話 54-2019（代表） メール gikai@town.kudoyama.lg.jp  
F A X 54-4705（直通） <https://www.town.kudoyama.wakayama.jp/>

### 次回定例会は3月に予定されています。

議会の日程が決まり次第、九度山町ホームページに掲示いたします。

### Ⅱ 編 集 後 記 Ⅱ

現議員の議会広報編集はこの号が最後です。紙面改革は道半ば。成果と課題は次の委員にしっかりと引き継ぎます。ご愛読ありがとうございました。

伊丹 俊也

計4年間、広報編集委員を務めさせていただき、広報がいかに大切かを学んだ4年間でもありました。ありがとうございました。

西山 隆

本年は、年号の平成が最後の年である。本町もフルーツロードの橋の完成、紀の川堤防の進展もあり、今後の町の在り方をともに考えたいと思います。

玉置 秀次

広報編集委員として伝える事の難しさを学ぶ2年間となりました。いつも読んでいただきありがとうございます。

西岡加津子

今後どのような元号に変わろうとも九度山町議会広報「こんにちはは議会です」を継続し、良い広報であるように願います。

松谷 要